

ごあいさつ

～^{とも}伴に歩み ^{とも}共に生きる～

東海ろうきんは、
働く人たちの生涯に寄り添い、
豊かな生活の実現をめざします。

理事長 土肥 和則



日ごろより東海ろうきんをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

2019年度の活動を広く皆さまにお知らせする東海ろうきんディスクロージャー誌「ROKIN DISCLOSURE 2020/東海ろうきんの現況」をお届けいたします。1年間の東海ろうきんの取組とその結果をご高覧いただき、率直なご意見をお寄せいただきたいと思います。会員・お客さまの声に耳を傾け、さらなる信頼関係づくりに活かしてまいります。

2019年度は第8期中期経営計画(2017年度～2019年度)の最終年度として、「働く人たちの暮らしと財産を守る身近で頼られる金融機関」であり続けるために、会員の皆さまのご協力のもと、勤労者の生涯にわたる豊かな生活の実現と生活応援運動の継続・発展に取組みました。また、直接還元・健全経営に必要な収益を上げ続けられる持続可能かつ、<ろうきん>らしいビジネスモデルの確立に向け、会員・お客さまとのより一層の信頼関係を構築するべく、各種施策に取組みました。

商品面では、2019年8月、頻発する自然災害により被災された方々の支援、ならびに不測の自然災害等に対する備えを強化するため、「災害復旧支援ローン」と「災害対策ローン『備えトク』」の利用限度額の増額および金利引下げ等を実施しました。2019年10月には、奨学金問題の解決に取組むため、通常の教育ローン金利に比べて低利な「奨学金借換専用ローン」の取扱いを開始しました。また、お客さまの多様な金融ニーズにより幅広く対応するため、専門知識を有した職員「ろうきんFC(ファイナンシャル・コンシェルジュ)」を中心に、資産形成セミナーや消費者金融教育セミナーなど、ライフステージにあわせた各種セミナーを実施しました。

国内景気は前半、海外経済の減速や、頻発した自然災害、消費税率の引上げの影響がありながらも、軽減税率やキャッシュレス還元等、雇用、所得環境の改善により、総じて緩やかな改善傾向が継続しました。しかしながら、年明け以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世界経済は急激に不安定な状況となり、経済活動は過去に類を見ないスピードで急速に悪化し、金融市場もその影響を受け株価の急落等、極めて不安定な状況となりました。

そのような状況ではございましたが、生活応援運動をはじめとした、勤労者支援の取組を展開することで、勤労者とそのご家族の生活向上に資する金融サービスを提供し、推進機構・会員の皆さまのご協力の下、年度計画を大きく上回る融資のご利用と預金を結集いただいた結果、利益目標を達成することができました。これもひとえに皆さまのご理解とご支援の賜物だと、金庫を代表してあらためて感謝申し上げます。

2020年度は第9期中期経営計画の初年度となります。また、10月には当金庫設立20周年を迎えます。新たな長期ビジョンを掲げ、会員組合員の方々を中心とした勤労者とそのご家族の豊かな生活の実現をめざします。

さらには、2019年3月に労働金庫業態で「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセス・利用できるという「金融包摂」の考え方は、ろうきんの設立経緯や理念・ビジョンと合致するものと考えます。当金庫の事業がSDGsの達成に貢献しているということを再確認し、ご利用いただくすべてのお客さまに良質な商品・サービスを提供することで、福祉金融機関としての存在意義・役割を発揮していきます。

皆さまには、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2020年7月